



議会だより

おもな内容

3月定例会	2
予算審査報告	4
一般質問(4名)	8
委員会活動報告	14
どっこい、この町に生きる	20

オオサンショウウオの春

人口巣穴の観察をする
多里はんざけを守る会のみなさん

今年度から環境保全対策事業
でオオサンショウウオにマイ
クロチップを着けて産卵場所
などを調査します。



おでかけ タクシー代の助成制度が始まる

平成29年度 おもな新規事業

対象者、1人年間2万円



社会体育館の建て替え
(約7億円)



在宅育児サポート事業
(780万円)



障がい者
グループホーム整備(茶屋)
(約1,300万円)



福栄コミュニティーセンターの
解体建設業務
(1,280万円)



高等学校(高専等を含む)
教科書の助成(対象者111人)
(169万円)



日南町森林組合との連携による
山林の明確化事業
(140万円)

4月から高齢者などの外出支援と交通空白地解消に向けた取り組みとして、対象者1人あたり年間2万円のタクシーチケットが交付されます。

申請に支障のある高齢者が多いのも現実です。代理申請もできますので、隣り近所をよく話し合われて、まずは利用してみてください。

議会では、中心地域からの距離差による交付要件を取り入れるなどさまざまな意見がありましたが、今年から新たに始まる制度。実際に利用されるみなさんの声が活かされるように、議会も利用実態の検証を行っていきます。

交付対象者

- 平成29年3月31日現在、70歳以上で運転免許を保有しない方（原付・小型特殊は除く）
- 70歳未満で要介護保険・要支援認定を受けている方
- 身体障がい者手帳を（1～3級）の交付を受けている方
- 療育手帳（A・B）の交付を受けている方
- 精神障がい者保健福祉手帳（1・2級）の交付を受けている方

平成29年度 会計別当初予算額

会 計	金 額	対前年度比
一 般 会 計	67億5,343万6千円	3億4,014万9千円
国民健康保険会計	7億8,552万3千円	△1,798万1千円
簡 易 水 道 会 計	2億7,711万7千円	△2,289万5千円
農 業 集 落 排 水 会 計	1億8,248万8千円	△1,335万6千円
介 護 保 険 会 計	10億7,087万6千円	1,087万4千円
介護サービス会計	1億2,849万6千円	△1,250万9千円
後期高齢者医療会計	9,455万8千円	142万9千円
再生可能エネルギー 発電事業会計	722万7千円	532万6千円
病 院 事 業 会 計	12億6,602万3千円	△744万4千円
収益的収支	11億679万6千円	△1,817万4千円
資本的収支	1億5,922万7千円	1,073万円
合 計	105億6,574万4千円	2億8,359万3千円

日南町議会の3月定例会は、3月2日から3月24日までの23日間の会期で開かれました。増原町長による平成29年度施政方針説明を受けて、4人の議員が一般質問を行い執行部の所信を問いました。

執行部から提案された平成28年度補正予算、平成29年度の一般会計など各会計の当初予算および条例案は、すべて原案通り可決しました。

予算審査は、議員全員で構成する「予算審査特別委員会」を設置し、担当課から詳しい説明を求め、住民にとってよりよい予算となるよう審議を深めました。

議決したおもなもの

議員発議

■日南町議会委員会条例の一部を改正して議会広報常任委員会の設置（6人）

■日南町意欲ある農業者支援条例の一部改正

■日南町いきいき定住条例の一部改正

■日南町議会議員定数条例の一部改正

条例関係

■木下文庫基金条例の廃止

■公の施設の指定管理

■日南町高齢者生産活動センター（日南振興（株）下石見）

■ふるさと日南邑（日南振興（株）・下石見）

■日南高原フラワーセンター（アイビレッジ（株）米子市）

■日南高原フラワーセンター育苗ハウス（日南物産（株）・三栄）

■一般会計補正予算

■「道の駅」の運営経費の増による委託料を3,000千円増額して19,900千円に

■日南町社会福祉協議会からの寄付金として「こどもゆめ基金積立金」へ積立

■日南病院事業会計への負担金の増額 5,262千円

■除雪委託料の増額で約2億円に

平成29年度当初予算 一般会計予算 質疑応答

町有財産解体工事 設計監理費

問 福田議員

阿毘縁生活改善センター
解体の設計委託は必要か。

答 坂本室長

施設の書類が残っており、
ず、鉄骨も使われており、
アスベストの危険性もある
ので設計監理費は必要であ
る。

答 高見総務課長

できるだけ経費の削減に
努めたい。

道の駅運営委託料

問 大西議員

経費計画の光熱費の電気
代支払について、直売所
(町委託)とレストラン
(MAサービス)は別経営
なのに、電気メーターが一
つのため、28年度は直売所
が全額支払っているが、ど
のように分けるのか。

答 浅田専門監

28年度末に、売上高の比
率で按分する事としている。

問 大西議員

廃棄物処理費は、28年度
直売所が全額支払っている
が、レストランとの処理量
の比率はどうか。

答 木下企画課長

処理費についても量をみ
て、按分も検討する。

問 大西議員

特に電気代について按分
で正しいのか疑問である。
レストランの電気代相当額

を委託料から除いて修正す
べきではないか。

答 木下企画課長

予算要求額が大きく変わ
る事に、問題があるので、
今後実績管理をしつかりす
るという事でご理解いただ
きたい。

問 坪倉議員

レストランと直売所は明
確に分ける必要がある。按
分するのではなく、電気な
ら小メータを付けるなど、
29年度までお願いしたい。
それから、MAサービスの
収支計画の提出を求める。

答 木下企画課長

MAサービスの収支計画
は明文化した物が出来てな
い。今週中には提出する。

問 坪倉議員

月報も分析が出来てない
し、補正予算や当初予算の
根拠が杜撰すぎる。計画が
11月末は時期が早すぎる。
町と事業者で調整して12月
くらいにしたらどうか。

答 浅田専門監

経費の支出に対する議論
が甘かった。反省をしてい
る。収支計画の作成も町長
の新年度施政方針に基付き、
契約書も変更していく。

予算審査の過程のなかで

予算審査を行った後、3
月16日に開催した本会議で
「一般会計予算の道の駅運
営委託料」を23,683
千円から21,683千円
へ2,000千円減額する
議案の訂正を許可しました。

公共交通

問 久代議員

公共交通事業のプロポー
ザルで共立メンテナンスに
委託先が変わり、従業員の
混乱があった。もっと早く
決定すべきでは。

答 木下企画課長

ご指摘の点は反省してい
る。従業員の引継ぎを含め、
急ピッチで対応している。

観光振興対策

問 坪倉議員

観光協会の事務局はどこ
に置くのか。

答 出口室長

道の駅の情報発信コー
ナーに置く予定。

問 坪倉議員

古民家活用委託料の事業
内容の説明を。

答 山中専門監

案段階だが、清水屋、か
つみやを組み合わせた観光メ
ニユーを作る。



阿毘縁の木下家

障がい者グループ ホーム

問 坪倉議員

新規事業で13,382
千円計上されているが、入
居数と運営主体は。

答 片岡室長

たんぼの家を改修4部
屋。NPO法人つなでに委
託予定。

問 坪倉議員

設置場所はコンパクトビ
レッジ構想を進めている中
で、山上で良いか。

答 梅林福祉保健課長

中心地域に近い利便性の
良い所を検討したが、適切
な所がなく、運営主体によ
る送迎等もあるので、まず



たんぼの家

実現したい。

問 坪倉議員

日南福祉会あさひの郷の
改造は可能か。

答 梅林福祉保健課長

基準を満たしているが、
多額の補助金の返還が生じ
るため、現時点では別の用
途に使用できない。

問 久代議員

日南福祉会所有の虹の郷
を障がい者施設にどうか。
障がい者の策定委員さんが
十分議論して山上に決めた
のか。

答 梅林福祉保健課長

虹の郷の補助金は把握し
てない。あさひの郷は指定
管理から外したい方針で、
これから協議をしていきた
い。また、方向性が決まっ
たので、意見交換会で説明
したい。

名水ペットボトル化 事業

問 坪倉議員

名水ペットボトル事業は
商業ベースでの活用が難し

い。また、3,000本の
費用対効果は。

答 久城住民課長

3,000本は1回あた
りの最上限、商業ベースに
乗らない。茶屋名水はマル
カン酢との連携ができた。

問 坪倉議員

廃止意見を尊重すべきで
は。継続するのであれば、
明確なビジョンを示してほ
しい。

答 久城住民課長

日南町の水が美味しい事
を対外的にPRする事。
大宮の水については、ラベ
ルに付加価値が付いた。

廃屋対策事業

問 大西議員

町内の空き家の実態と、
通学路に面した危険家屋を
どうするのか。

答 久城住民課長

町内に481戸の空き家
があり、その内48戸が特定
空き家。国道沿い16戸、県
道町道沿い129戸ある。

問 近藤議員

早急な対応が必要な箇所
があるか。

答 久城住民課長

7件相談があり3件は大
変危険な状況で、所有者
(管理者)は対応してくれ
ない。

問 近藤議員

町としての対応は。

答 久城住民課長

行政代執行を行うと、一
つの先例が出来、48戸が対
象になりかねない。住民の
意見も聞きながら検討して
いく。

タクシー助成

問 足羽議員

町内一律助成は公平性が
ない。距離に応じて3段階
で助成金を分けてはどうか。

答 梅林福祉保健課長

企画課を含め検討したい
が、初年度は一律助成とす
る。

問 坪倉議員

交通空白地帯解消として

進める中、高齢者福祉対策
として福祉保健課が事業を
執行すべきではないか。

答 梅林福祉保健課長

交通空白地帯解消と介護
予防的な日常生活の利便性
向上に有効な手段になると
思う。高齢福祉の評価分析
は、福祉保健課で主体的に
行う。



タクシー助成の利用者

問 坪倉議員

一律2万円は平等だが、
公平でない。福祉の面では
どうとらえるか。

答 梅林福祉保健課長

中心地や病院など距離に
差があり、利便性にどれだ
け貢献できるか課題はある
が、一律で始めてみて検討
していく。

予算審査特別委員会の審査報告

3月定例会では、平成29年度一般会計をはじめ、各会計予算の審議にあたり、本会議での質疑後、予算審査特別委員会（委員長 山本芳昭）を設置して、平成29年3月3日、6日、7日、8日、9日、15日、16日に委員会を開催し、付託された各議案の会計予算について関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審議を行いました。

審査報告

1. 予算説明付属資料

事業目標・目標数値を示した項目を新たに設けよ

予算説明資料において継続事業にあつては前年度の検証を踏まえた事業目標・目標数値を示した項目を新たに設け記載されたい。また執行経費の内訳について前年と比較可能な記載とされたい。予算資料と決算資料の事業説明内容と執行経費及び財源は比較しやすいように、項目削除はしないようにされたい。

2. 町有財産の解体処分

経験と知識を生かし経費の削減を

3. 名水ペットボトル化事業（まめな水）

今後、明確な目的を定め、さらなる事業展開を

27年度決算審査において「今後の事業展開について廃止も含め見直すべきである」との意見を付した。今後、事業を継続するとすれば、明確な目的を定め、さらなる事業展開を検討されたい。

4. エナジーにちなんの業務

農林業研修生育成事業の充実に専念すべき

エナジーにちなんの業務として米などの物販をしないこととなっていたが、依然としてマルカン酢とまめな水を取り扱っている。



新しい研修生3名と指導員のみなさん

5. 日南病院事業会計剰余金

剰余金を充當すべき

従来の公立病院に対する特別交付税措置分に加え29年度一般会計より2,470万円が加えられた。今後人口減少などの要因で厳しい経営が予想されるが、多額の剰余金も保有されている。まずは剰余金を充當すべきであり、29年度中に町当局と十分に協議され議会への報告を求めたい。患者の増加につながるよう医

むすび

未収金の回収について、28年度の成果、29年度目標達成に向けての方針及び今後の取り組みについて報告されたことを高く評価したい。しかし、予算の積算根拠が明確でないものや計画が十分検討されていないものが見受けられた。予算額の決定においては計画を十分に検討され積算したものとなされたい。併せて、議会に対し情報開示の迅速化を図られたい。

平成29年度当初予算 一般会計・特別会計予算 討論

一般会計

反対 久代議員

補正予算で基金の積立をされているが、介護保険問題・介護サービス問題・日南病院問題等、基金が必要な所には支出する必要があるのでは。

人権施策推進事業で約一千4百万円の予算を計上しているが、人権センターの教育・施策は教育委員会の所管の中で十分やれるのでは。特定地域にあればだけ人員を配置して行う事は不公正だ。

賛成 恵比奈議員

新たな子育て支援策として、高校教科書代の助成、妊娠から出産までの助成、在宅育児サポート事業、移住定住対策として、生山の定住促進団地補助事業、高齢者の社会参加のためのタ



シアトルの中学生との交流 ジャンケン列車 平成29年3月27日

介護保険特別会計

反対 久代議員

国の介護保険制度改革が大きく響いている。介護報酬が下がり、経営を圧迫して大きな問題となっている。まず、町として介護職員の確保をより真剣に取り組んでほしい。

賛成 足羽議員

第6期介護保険事業計画の最終年度として、低所得者の第一号保険料の軽減や、地域包括ケアシステムの充実など、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活出来るよう取り組んでいる。

介護サービス特別会計

反対 久代議員

日南福祉会の負担金を2年間繰り延べ処置をされた。公債の交付税部分を更に負担していくルールの見直しが必要。単なる年限を長く



グループホーム あさひの郷

賛成 古都議員

元来この過疎債・介護サービス債の返還については、両者が協議してもらっていくスタンスを取る。今、日南福祉会では経営改善の最中である。今期執行部から話があったように、今年1年かけて、どのような方法が福祉会に取って一番良いか検討される。

後期高齢者医療特別会計

反対 久代議員

広域連合で行っている保

賛成 荒木議員

この保険料は国の高齢者医療の確保に関する法律に基づき、鳥取県の広域連合で決定するものである。この制度は平成20年度から運用され、いろんな問題を抱えて来ている。一番問題の少子高齢化という中で、保険料を上げて行かざるを得ない。

また、保険制度を2つに分ける事も、恒久的に保険制度を続けて行くためには、この保険制度は必要である。



久代安敏議員

問 日南福祉会の介護職員確保と建設費負担金の減額を

答 人材確保対策を支援し施設利用料の協定を見直す

①日南福祉会の平成28年度中の退職者は、有期雇用者を含め14人の見込み。新規採用予定者は短時間勤務者を含め5人。職員の不足が継続しており、求人継続、就職フェア等への積極的参加、給与等の見直し、研修の充実等に取り組んでいる。介護福祉人材育成奨学金制度を広くPR

答 増原町長

②町が起債し建設した「あかねの郷」と「あさひの郷」の建設費用の約3割、8億円を年次計画により、介護施設利用料として日南福祉会に負担を求めている。しかし、平成27年、28年度続けて繰り延べすることになった。この際、施設利用料負担金を大幅に減免するなど抜本的に見直すべきだ。



建設13年目のあかねの郷

問 日南福祉会の介護職員の確保

①農林業研修生の指導要領を改善するということであるが、具体的にどのような改めるのか。
②農林業は、安定的な生産をすることが基本であり、持続可能な経営で次の世代に引き継ぐことが重要である。住民全体で育てるという視点での多様な多面的な教育と実践が必要であるが。
③研修生を受け入れる個人や団体にも指導の報酬を引き上げて支援すべきでは。

問 農林業研修制度の充実で後継者の育成を

答 町長

経営努力を積み重ねるとともに、病院会計の資本の金額を有効活用し、経営改善に繋げていく。

問 日南病院の経営

日南病院は、入院・外来ともに患者数が漸減していることにより赤字決算の見込みである。公立病院への特別交付税の減額も考慮し、根本的な対策を求めたい。

答 町長

問 学校給食費の無償化

①研修の目標・方針、研修体系、研修内容などをまとめた年間の研修計画・カリキュラムを新たに策定し、研修の進捗確認や方向性について総合的に支援する体制を構築する。
②町内の優秀農家や林業経営体の指導をお願いするとともに、地域の皆様の直接的なご支援や陰ながらの支えで、しっかりとした農林業者が育っていただきたい。
③現状の制度の中で、研修先の協力者謝金を支払っている。

答 丸山教育長

給食食材費の負担は、保護者にお願したいと考えている。現段階では給食費の無償化は考えていない。



近藤仁志議員

問 一般社団法人(特定法人)への取り組みは

答 護送船団方式でなく、先進地区を見本として検討していきたい

①町として里山の環境を守るといふ広い視野で分野横断的な共通認識と連携の上で施策を進める必要がある。そのためには地域においても同様の認識のもと必要な取り組みを連携して共に取り組んでいただくことが必要と考える。

答 増原町長

②一般社団法人は非農家、町外の方、一般企業も加入でき、とりわけ特定法人は税制面でも有利である。農業法人など収益事業者の下支えをするのと併せてふるさと協働隊として福祉、防災、地区行事開催等、多面的に応えられる組織と考えるが。

問 地域集落の長寿命化に向けた方向性と取り組み

問 タクシー助成

①来年度事業説明で公共交通の見



視察がつづく一般社団法人 笠木営農組合

②取り組める地区、できない地区もある、護送船団方式でなく先進地区を見本として目指すのはいいいと考えるので、検討していきたい。

答 町長

①タクシー助成は試行的な実施と捉えており、1年を通じ、利用状況をしっかりとタクシー事業者と分析をすることがこの事業を成功させる上で一番大事な部分であると考えている。まずは全地域一律金額でスタートをしたい。
②タクシー助成は三つの目的を考えている。一つには近所同士で出掛ける仕組みで高齢者の外出支援。二つにタクシー事業者の運賃収入の増加により継続的にタクシー業者を残し、運転手の確保。三つ目に交通空白地の多い町内高齢者の移動手段の確保。経済の町内循環は派生的効果を見込めるかもしれないが、重きは置いていない。

直しがなされ、町営バスの一部小型車運行、デマンドバスのフリー降車便、そしてタクシー助成の提案がなされたが、タクシー助成は本町の実態を把握されたものとはいえず、限られた予算とはいえず、今後の事業展開を検証する上で予算内においても、負担の地域間格差のない制度の下でスタートする制度に組み替えられないか。
②経済の地域内循環を見据えた利用条件の設定は。



足羽 覚議員

問 日南福祉社会介護職員の
離職が目立つが

答 今後は組織が一丸となり
人材確保に努める

- 答** 増原町長
- ① 日南福祉社会の平成28年度中の退職者は14人の見込み。うち定年退職者は1人。
 - ② 現人員や採用予定者など想定した中で、運営体制の方向として縮小計画はある。その中でサービス提供に支障が生じないよう対応に努めている。今後は組織が一丸となり人材確保に努め、需要のあるサービス量に対して供給できる体制づくりに努力していく。
 - ③ 介護福祉人材育成奨学金制度は、

- 問** 日南福祉社会
- ① 近年、日南福祉社会介護職員の離職が目立つ。平成27年度で15人の離職、平成28年度は、何人離職されるか。また、定年退職者は何人か。
 - ② 平成27年度に、デイサービスおおくさ荘の休止。そしてグループホームあさひの郷の1ユニット（9床）休止など、職員不足による介護施設利用の縮小化が行われているが、今後の予定は。
 - ③ 介護福祉人材育成奨学金制度の活用状況と、人材確保のための営業努力を、どのように取り組んでいるか。



グループホーム あさひの郷

平成27年度3人、平成28年度3人、実5人の利用。このうち2人は介護福祉士資格を取得し28年4月から日南福祉社会で勤務。日南福祉社会では、求人継続、就職フェア等への参加、給与等の見直し、研修の充実、事業所内保育等に取組んでいる。町では介護福祉人材育成奨学金制度をさらに広くPRし、職員確保の支援に努める。施設使用料相当額について、協定内容を見直して安定的運営に資するとともに、日南福祉社会の人材確保対策を支援していく。また、中学校の介護職場体験等で、イメージアップを図る。

- 答** 町長
- ① シルバー人材センターの会員は平成28年度64人、前年度比8人増。過去3年増加傾向にある。
 - ② 元気で意欲のある高齢者の活躍の場としてシルバー人材センターがある。また、社会福祉協議会広報紙「まごころ」等で会員の募集をしている。会員の平均年齢が高くなっており、60歳代の入会勧奨を要する必要がある。



大西 保議員

問 道の駅の経営管理の反省を
今後どう取り組むのか

答 経営実績を毎月毎月検証して行く

- 答** 増原町長
- ① 町長は、道の駅の初年度としての取り組み成果をどのように評価しているのか。
 - ② 課題点を今後どのように改善されるのか。
- ・計画の売上利益は達成出来たが、売上目標は届いていない状況である。
- ・加工品等は計画を達成したが、生鮮野菜を中心とする町内産品の販売促進をさらに進めていく必要がある。生産者部会で各地域ごとに責任者を設けて、より生産物を出す方向で進めて行く。と聞いている。
- ・6次産業化は、加工実習室を活用しドレッシングや新たな加工品・工芸品生まれ日南町らしい特色ある商品となっているが、加工実習室の稼働率が特に低いので、新年度からは夜も含めた稼働を進めて行きたい。
- ・26人の内訳は、直売所9人、レ

平成28年度道の駅収支見込み（平成29年1月末現在）

	当初計画	平成28年度見込み	達成率
売上金額	98,000	73,972	75%
売上原価	82,850	57,868	70%
売上利益	15,150	15,924	105%
運営経費	31,827	38,980	122%
内訳			
人件費	16,817	20,334	121%
その他経費	15,010	18,646	124%
運営委託料	16,906	19,906	118%
経常損益	229	▲3,150	

主な売上見込み（平成29年1月末現在）

	当初計画	平成28年度見込み	達成率
生鮮野菜	50,000	10,068	20.1%
米	15,000	2,598	17.3%
加工品	20,000	20,361	101.8%

・交流人口増加に伴う町内の観光施設、商工施設、飲食店等への経済効果があった。

・道の駅の売上利益は達成出来たが、売上目標は届いていない状況である。

・加工品等は計画を達成したが、生鮮野菜を中心とする町内産品の販売促進をさらに進めていく必要がある。生産者部会で各地域ごとに責任者を設けて、より生産物を出す方向で進めて行く。と聞いている。

・6次産業化は、加工実習室を活用しドレッシングや新たな加工品・工芸品生まれ日南町らしい特色ある商品となっているが、加工実習室の稼働率が特に低いので、新年度からは夜も含めた稼働を進めて行きたい。

・26人の内訳は、直売所9人、レストラン6人、加工施設3人、障がい者作業所支援員3人と利用者5人。レストランの人員は見直しが必要と思っている。

② 農林産物の販売促進のため、出荷者協議会、道の駅、町が連携し出荷促進を図る。

・冬場の加工品等の品揃えの充実が必要と考えている。例として大根漬けがあつという間に売れた事例がある。

・経営管理については、毎月の経営者会議において収支計画も含めた内容で管理の徹底を行う。

・町内観光の魅力情報発信拠点の機能強化を図るため、道の駅内に観光案内施設を設置する。

- 問** 道の駅の29年度計画
販売及び経費の年間計画と月次計画は出来ているのか。
- 答** 木下課長
- 年間の販売目標数値はあるが、月毎の計画は出来ていない。
- 問** 道の駅のCO₂排出量
- ① 28年度のカーボンオフセットのCO₂排出量は、何トンになるのか。
- ② 当初は300トンであったが、なぜ半減以下になったのか。
- 答** 町長
- ① 28年度中のCO₂排出見込みは、140トンと推計している。
- 答** 青葉課長
- ② 当初は設備稼働率70%としていたが、その後実質の数値が出てきたのでその数値に修正した。
- 問** 社会体育館新築
- ① 基本構想は、どのような考え方なのか。林業の町に相応しい木材を中心に使った体育館を作ったかどうか。
- ② 完成は、いつ頃を目指しているのか。
- 答** 町長
- ① 木造建築の体育館も視野に入れて検討していく。
- 答** 丸山教育長
- ① 現在の位置に同規模で防災機能も兼ね備えた体育館を建設したいと考えている。
- ② 平成30年度中の完成をめざしている。

3月定例会審議結果と議員ごとの賛否内訳

賛成＝○ 反対＝×

議 案 名	結果	足羽 覚	恵比奈 礼子	(欠 員)	古都 勝人	山本 芳昭	大西 保	坪倉 勝幸	近藤 仁志	荒木 博	久代 安敏	福田 稔	村上 正広
平成29年度 予算													
介護保険特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
介護サービス事業特別会計	可決	×	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
後期高齢者医療特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
再生可能エネルギー発電事業特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
病院事業会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
その他の議案													
町道の路線認定について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
公の施設に係る指定管理者の指定について (日南町高齢者生産活動センター)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
公の施設に係る指定管理者の指定について (ふるさと日南邑)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
公の施設に係る指定管理者の指定について (日南高原フラワーセンター)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
公の施設に係る指定管理者の指定について (日南高原フラワーセンター育苗ハウス)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信 技術の共同化に関する事務の委託に関する協議について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町過疎地域自立促進計画の一部変更について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
木下文庫基金条例の廃止について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
請願・陳情													
テロ等組織犯罪準備罪(共謀罪)の創設に反対 する請願書	継続審査												
「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府 に求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	×	×	－	×	×	×	×	×	×	○	×	－
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める 意見書」の採択を求める陳情書	不採択	×	×	－	×	×	×	×	×	×	○	×	－
鳥取県西部地区に問題行動等に総合的・長期的 に対応する仕組みの実現を求める陳情書	採択	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情書	継続審査												
発議													
日南町議会委員会条例の一部改正について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町意欲ある農業者支援条例の一部改正について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町いきいき定住促進条例の一部改正する 条例の一部改正について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町議会議員定数条例の一部改正について	可決	○	×	－	○	○	○	×	○	○	×	○	－
鳥取県西部管内に、問題行動等に総合的・長期的に 対応できる施設の実現を求める意見書提出について	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

賛成＝○ 反対＝×

議 案 名	結果	足羽 覚	恵比奈 礼子	(欠 員)	古都 勝人	山本 芳昭	大西 保	坪倉 勝幸	近藤 仁志	荒木 博	久代 安敏	福田 稔	村上 正広
条例の一部改正													
日南町職員の早期退職希望者の募集及び認定 に関する条例及び日南町消防団条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町国民健康保険税条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町特別職の職員で常勤のものの給与及び 旅費に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町議会議員の議員報酬及び費用弁償等 に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町簡易水道事業に勤務する職員の給与の 種類及び基準に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町個人情報保護条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町税条例等	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町特別医療費助成条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町農林業担い手研修施設の設置及び管理 に関する条例等	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町保育所の設置及び管理運営に関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町立生活改善センターの設置及び管理に 関する条例	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
平成28年度 補正予算													
一般会計(第7号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
国民健康保険特別会計(第3号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
簡易水道事業特別会計(第3号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
農業集落排水事業特別会計(第4号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
介護保険特別会計(第3号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
介護サービス事業特別会計(第2号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
日南町後期高齢者医療特別会計(第1号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
再生可能エネルギー発電事業特別会計(第2号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
病院事業会計(第2号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
一般会計(第8号)	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
平成29年度 予算													
一般会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
国民健康保険特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
簡易水道事業特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
農業集落排水事業特別会計	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－

平成27年6月26日に設置された特別委員会は議会の活性化と権能の充実に向上など議会の基本的事項について14回にわたり委員会を開催し調査、検討してきました。その成果として3月定例会最終日に次のことを報告して調査を終了しました。

今後引き続き議会の活性化および使命達成のための取り組みについて不断の努力をすることを互いに確認していきます。

①議会基本条例のうち、議員報酬を改定しようとする場合、鳥取県西部地区特別職等報酬審議会の答申を尊重しなければならぬとする条項を追加し、議員報酬改定過程をより公平なものにする。

②議会だよりはこれまで特別委員会を設置してその編集発行をしてきましたが、委員会条例を改正し議会広報常任委員会を追加し、議会だよりの編集、発行に関する事項を所管する。

③女性の議会参画を推進することから、会議規則を改正し議員が欠席する際の欠席理由に議員の出産を追加した。

④議長、副議長の選出の過程を明らかにし、公平・公正・透明な議会運営に資するため、会議規則を改正し議長、副議長を志願する者の本会議での所信表明の機会を設ける。

⑤議員定数については、町民との意見交換会や議会に関するアンケートの実施など、慎重に議論を重ねた。議員定数を現行の12人から2人減じて10人にするとの結論となる。

中心地域整備に関する調査特別委員会

担当課	調査内容と報告事項	意見と結果
1月20日 2月21日 2月27日 3月21日 に委員会を開催し、担当課の企画課、総務課、農林課から説明を求めた。	■中心地域の住宅・福祉ゾーンにおいて2LDKの世帯向け住宅7戸を考えている。事業主体の考えによって変更があるかもしれない。また、生山分譲地の申込み状況をみながら進めたい。	☞さまざまな町営住宅があるが、現在空き部屋もある。住宅のニーズをしっかりと把握して、生山分譲地の状況をみながら事業化を検討すること。
	■生山定住促進団地建築補助金事業で新年度に、8区画のうち5戸分の建築助成(16,000千円)を計上する。	☞借地権設定契約書案、生山定住促進団地建築補助金交付要綱案について説明を受け、建築助成制度を地元業者以外は2分の1に減じることを提案し決定した。
	募集が始まった生山定住促進団地 	☞28年度の経営計画や経理が厳密に管理されていなかったことを反省し29年度は当初予算内で事業を展開すること。
	■「道の駅」の28年度の委託費は、人件費とイベント企画料などが要因で増額となり補正予算を3,000千円提案したい。	

総務教育常任委員会

1月20日 担当課	調査内容	意見とまとめ
教育課	■海外派遣事業 ■社会体育館施設検討会の結果 ■ICTを活用した授業	☞本年度の実施予定についての報告を受ける。 ☞社会体育館検討会からの検討結果の報告を受け再度検討した結果、29年度設計。事業実施は砂防工事が終了すれば早い時期に行いたい。 ☞2月13日にICTを活用した公開授業を視察。
出納室	■「債券運用指針」を変更し、低金利の時代に少しでも有利な運用をしたい。	☞債券運用方針について従来の方針との変更点について報告を受け、国債や県民債を検討している。元本割れはない。
企画課	■公共交通対策 ■セキュリティ対策システム構築	☞年間2万円程度のタクシー助成を考えたい。フリー降車（乗車ではない）を検討したい。バスを小型化し、燃料費の削減等を図りたい。 ☞個人番号系、LGWAN系、インターネット系の分離、データセンター、資産・認証管理システム、セキュリティクラウド負担金など。
3月13日 請願・陳情 審査など	■請願1件は、継続審査。陳情2件は不採択と決定した。 ■日南町いきいき定住促進条例に「施工は町内業者に限る」を加えることを決定した。	

経済福祉常任委員会

2月6日 担当課	調査内容	意見とまとめ
農林課	■にちなんブランド化促進事業の進捗状況	☞6次産業化・農商工連携支援事業（日南トマト加工（株）・（有）だんだん実施予定） ☞農業イメージアップ化検討事業（農業＋Xで農業定住者や定住人口を増やす）
福祉保健課	■「鳥取県西部地区に問題行動等に、総合的・長期的に対応する仕組みの実現を求める陳情書」の審査	☞陳情者を参考人として招き、陳情の趣旨の説明を求めて、全員一致で採択する。
3月13日 建設課	■鳥取県に提出した「河川に堆積した土砂の撤去」の要望書の回答は、 ☞限られた予算の中で緊急性の高い箇所を優先して実施している。	 新屋の野組川

議員定数、12人から10人に削減を議決

議員定数の条例改正は、次期日南町議会議員選挙の一般選挙(平成31年4月執行)から適用されます

町村名	議員定数 (人)	人 口 (人)	面 積 (km ²)
日 南 町	12	4,765	340.96
日 野 町	10	3,278	133.98
江 府 町	10	3,004	124.52
日 吉 津 村	10	3,439	4.20
大 山 町	16	16,470	189.83
南 部 町	14	10,950	114.03
伯 耆 町	14	11,118	139.44
三 朝 町	12	6,490	233.52
湯 梨 浜 町	12	16,550	77.94
琴 浦 町	16	17,416	139.97
北 栄 町	15	14,820	56.94
若 桜 町	10	3,269	199.18
智 頭 町	12	7,154	224.70
八 頭 町	14	16,985	206.71
岩 美 町	12	11,485	122.32

※議員定数は、平成29年4月現在
人口は平成27年国勢調査より

本会議最終日に、「議会基本問題調査特別委員会」の坪倉勝幸委員長より提案された議員定数を2人削減する条例改正案に対する討論はつぎのとおりです。(採決の結果は、13頁)

議員定数のあり方については、「議会基本問題調査特別委員会」(全議員で構成)を設置し、昨年の町民との意見交換会や議会に関するアンケートの実施、外部講師を招聘しての勉強会をするなど慎重に検討してきました。

3月定例会会期中の3月3日に開催した特別委員会で、議会としての結論を出すことを決定し、議員間での積極的な討議を行いました。

その結果、「町の人口が減少していることやアンケートの集計で定数を減らすべきとの意見が圧倒的に多かったことなどの理由により議員定数を現行の12人から2人減じて10人にすべき」という意見と、「定数削減は多様な民意を町政に反映し、議会のチェック機能や政策提言を実現するためによくない」という議論に集約され、最終的には採決の結果、定数削減に賛成7人、反対3人となり議決されました。

反対

久代安敏議員

議会報告会では議員を減らせという意見はほとんど聞かれなかった。町民アンケートでは58%が多いと答えているが、ちょうど良い、少ない、分らないの答えも42%あり、拮抗している。近隣の町村と比べても決して多いとは言えず、多様な民意を反映するためにもこれ以上議員定数を減らすべきではない。

賛成

古都勝人議員

議員定数については、議会基本問題調査特別委員会を設置して全議員で議論を重ねてきた結果の提案である。

人口減少が予測される中でアンケート結果の民意を踏まえたものであり、今回の発議は議会人として当然可決されるべきである。

議員定数を最終決定した
議会基本問題特別委員会
での議員討議の発言要旨
(発言順)

坪倉勝幸委員長

3月定例議会会期中に定数問題についての結論を出すということである。

現状維持か定数減か、全員の合意が得られることがベストと思うが、最終的には多数決という手法も取らざるを得ないと思っている。議員間討議という形で議論を深めていきたい。

山本芳昭委員

日南町の人口5,000人というところが、5,000人を切った時には再度検討すべきではないかと思っていた。

近隣の町村では日野町、江府町は10人の議員でやっているし、アンケートの結果も58%は減らすべきだという結果が出たということ踏まえて、議員定数は10人に減らすべきではないかと思う。

荒木博委員

昨年の国勢調査の結果が4,765人という数字が

出ている。あと5、6年で人口が4,000人前後になるのは、目に見えた現実であり、その現実を捉えて考えるのが一番なので、定数を10人というふうに考える。

久代安敏委員

地方自治法が改正される前は、議員定数の上限数を、人口2,000人以上5,000人未満の町村は、14人となっていた。

町村合併や地方行革のなかで議員定数の削減ありきの考え方はよくない。日南町は面積的にも広大であり多様な民意を議会に反映し、政策を実現するために現状維持ですすめていくべきだと考える。

近藤仁志委員

アンケートの数字の結果に大変ショックを受けている。

議員の活動が十分町民に伝わっていないということが、アンケートの文面にも出ていると思う。議員もいろいろ反省しながら多くの方の意見を吸い上げて町政に反映するためには12人の現状維持が妥当だと考える。

大西保委員

議員になった時には全国表彰を受けた議会というところで、中身を見ると大変出席日数も多く活動をしている。

しかし、今回のアンケート結果を重要視するべきだと思っている。6割の方が12人は多いよと。やはり住民の声を聞いた結果の数字がこれだ。私は10人だと思っている。

足羽覚委員

このアンケート調査結果は非常に重要だと思う。以前は定数12人でいいと思っていたが、現在一人欠員の11人でやっている中で、これが例えば8人なら無理だが何とか10人でもいけるんじゃないかと思っている。

恵比奈礼子委員

一概に人口だけで定数は考えるべきではないということ、その理由として様々な立場の人の意見を汲み上げるためにも、やはり12人は最低限必要ではないかと思う。

福田稔委員

面積が広いから一定の議員数が必要だという意見が

日南町議会議員定数の推移

年	議員定数	人口(人)	
昭和34年 (1959年)	24	15,498	日南町誕生による選挙
昭和38年 (1963年)	20	14,104	定数4人減
昭和46年 (1971年)	16	10,875	定数4人減
平成19年 (2007年)	12	6,107	定数4人減
平成27年 (2015年)	12	5,014	初めての無投票選挙
平成31年 (2019年)	10	?	定数2名減

村上正広委員

現状維持と減らすという2案で採決をして、現状維持ならそのままだと思うが、減らすという意見が多数であるとすれば定数を何人にするのかという議論もしていただきたい。

あつたが、今、地元という点に関しては「まち協」ができて、ある程度問題は「まち協」で解決できると思う。議員は執行部のチェック機能だと思うし、減員しても、その機能は果たせるから10人にするべきだと思う。

請願・陳情の審査結果

提出のあった請願・陳情は、3月定例会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件 名	提 出 者	審 査 意 見	本会議
「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書」の採択を求める陳情	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	米軍基地が集中し、沖縄県民の負担については充分理解できるが、辺野古への移籍は普天間基地周辺の危険性をなくすためである。	不採択
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	中小企業への支援策の拡充等については理解できるが、全国一律最低賃金制度の確立などは地方の中小企業への影響が大きく、最低賃金一律1,000円の引き上げは困難と考える。	不採択
鳥取県西部地区に問題行動等に総合的・長期的に対応する仕組みの実現を求める陳情書	発達障害家族ネット 代表 矢田貝 正夫 ほか2名	障がい者と家族が安心して暮らしていくためにも、広域的な対応で基盤整備することが急がれる。	採 択

3月定例会で下記の意見書を採択し、 鳥取県知事に提出しました

(要旨掲載)

鳥取県西部管内に、問題行動等に総合的・長期的に 対応できる施設の実現を求める意見書

同一世帯内での困難な問題行動等に適切に対処することは、現在の高齢者や障がい者や子どもの支援が別々に行われる分野別支援体制では難しく、高齢の親が中年の子どものDVや精神症状のため自宅から逃れて避難が必要になるケースもまれではありません。
こうした難題に対処するための仕組みを早急に整える必要があり、下記のことを鳥取県が県西部地区の市町村と協力して実現するように求める。

記

1. 鳥取県西部に、発達障がい・精神障がい・高次脳機能障がい・認知症・引きこもり・DV・虐待・生活困窮など分野を問わず、分野が重複しても、当事者のみならず、家族全体の支援が可能かつ、精神症状・2次障害・不適切な行動などの問題行動全般に対応可能な相談支援機関、(仮称)西部総合支援センターを開設すること。
2. 高齢・障がい・子ども等、どの分野でも相談・家庭訪問等に対応でき、かつ当事者だけでなく家族全体の支援を行うことができる新たな専門職、(仮称)在宅ケースワーカーの育成に取り組むこと。
3. (仮称)西部総合支援センターから西部地区の全市町村に常駐の、(仮称)在宅ケースワーカーを派遣すること。
4. (仮称)西部総合支援センターでは(仮称)在宅ケースワーカーの育成以外に、福祉支援人材全般の育成・レベルアップにも取り組むこと。
5. (仮称)西部総合支援センターは県立県営が望ましいが、それが困難な場合、当面は県・西部地区の市町村、関係者、要望書提出者で当該センター設立開設・運営に関する検討会を持つこと。

自治功労者表彰



村上議長 坪倉議員

平成29年2月8日、全国町村議会議長会より、町村議会議員として27年以上在籍し功労のあった者として坪倉勝幸議員が自治功労者表彰を受けました。
また、平成29年2月15日、鳥取県町村議会議長会より、町村議会議員として21年以上在籍し、功労のあった者として村上正広議長が自治功労者表彰を受けました。
永きにわたり、地域振興及び住民福祉の向上に尽くされました。
今後更なるご活躍を期待します。

議会広報コンクール

鳥取県議長会が開催した第24回鳥取県町村議会議会広報コンクールにおいて、表彰を受けました。
今後、市民の皆さんに読んでいただける広報紙を目指して、研修を重ねてまいります。

(議会広報調査特別委員会)

議 会

あらかると

議会における質疑

討論・採決とは

議会は「言論の府」といわれるように、議員活動の基本は言論であって、その自由を保障しています。議員の会議の発言には、いろいろの種類があり、それぞれ目的と性格があります。

質疑

議題となっている議案に対してその疑義をたずすもの。但し、原則として「自己の意見を入れない」

質疑の方法

一括質疑方式

質疑者が議題について数項目の質疑事項を取り上げ、一括質疑する。

同一議員が同一の議題について三回まで再質疑できる。

一問一答方式

案件に対する疑問点を一つずつ取り上げ、納得の行くまで質疑、答弁を繰り返す方法。

討論

議案に対する「賛成・反

討論の順序

討論交互の原則

賛否の討論を公平に行わせるため、賛成者と反対者を交互に発言させる原則。

討論一人一回の原則

同一議員が同一議題に対し、一回限りの賛否の意見を述べるができる。

採決

議長が賛否を問うことで、通常の場合は起立による過半数で可否を決定する。案件によっては投票による場合もある。

平成28年度 行政視察受入状況

※議会に関する視察
(7月25日以降)

8月1日

鳥取県北栄町議会

議会でのタブレット端末導入の成果と課題

8月22日

和歌山県九度山町議会

議会改革の推進

10月18日

福岡県桂川町議会

議会改革の推進

11月16日

島根県隠岐の島町議会

議会改革の推進(タブレットの導入について及び議会改革の取り組み)

12月14日

宮崎県五ヶ瀬町議会

議会改革の推進

1月11日

徳島県那賀町議会

議員発議で補助金に係るもの

【記事の訂正】

平成29年1月発行の「議会だより」(第146号・4ページ)「古都勝人議員の一般質問で、「問」と町長答弁の「答」が入れ替わっている箇所がありました。お詫びして訂正します。

道 どっこい、この町に生きる 草

あかねの郷で介護の仕事を頑張っているふたり

手島 淳さん・大西 郁也さん（生山）

あかねの郷を就職先に決めたのは



手島さん 大学時代の12年前に、米子コンベンションセンターで行われた就職説明会セミナーに参加して、色々な会社の説明を聞いた中で「日南福祉会」の担当の方の説明が、福祉の仕事があまり理解していない私に、丁寧に親しみをもちながら、又日南町の良さをアピールされたのと、父が福祉系の仕事をしていたので決めました。あかねの郷1期生です。当時の方が10名程度となり寂しい思いですが、これからもお役に立ちたいと思っています。



大西さん 米子で行われる高校生向けの就職説明会セミナーに参加する前に、卒業後一人暮らしが希望だったので、ホームページで単身者住宅のある「日南福祉会」を調べ歩いて行き、会場で担当の方か

ら説明を聞き決めました。米子市出身で、現在入社後4年目となりました。

日南町での生活はいかがですか

手島さん 買物は、パセオやコメリ、ローソンがあるので日常生活は困らない。地域活動では、自治会の夏祭りの支援要請があり参加しました。現在では、アパートから借家に引っ越しをしたので、この機会に自治会に入ろうと思っています。又、近い将来結婚をする予定です。

大西さん 4年前から地域のイベント等に参加しています。出来ればドラッグストアがあればいいなあと思っています。

福祉の資格取得状況はどうですか

手島さん 大学の専攻では、福祉関係でなかったため入社後、研修と経験を積み、介護福祉士とケアマネージャーの資格を取得しました。受験料はそれぞれ全額支援が

ありました。

大西さん 初任者研修を修了したので、介護福祉士の資格取得を目指して、頑張っています。

余暇はどのように過ごしていますか

手島さん 冬のスポーツで、スノーボードが好きなので、花見山や大山のスキー場に行っています。

大西さん 同じアパートに住んでいる同僚とよくお酒を飲んで、コミュニケーションを図っています。

何か要望がありますか

手島さん 処遇改善として夜勤手当とか資格手当等を見直してもらえないか。他の市町村の条件よりも良くないと来てもらえないのではないだろうか。

大西さん もう少し給料が多ければいいな…



仕事仲間と夏まつり練習中

編集後記

この紙面が皆様に届く頃から五月中旬にかけて雨降りの夜、川辺では淡い光を発しながらホタルの幼虫が上陸する姿が繰り広げられていることをご存知でしょうか。

ホタル乱舞の華々しさとは違い、実に神秘的な光景で感動されますよ。

三月定例議会も終了し、皆様の生活を下支えする予算、移住・定住をはじめ交流人口増を推し進める予算、新たな挑戦に向けた予算等々盛り沢山な事業内容に、例年になくPDCAを念頭に置いた審議ができました。今後とも、日南町の将来の礎になるよう、執行の検証に努めなければと意を強くしました。

近藤 記

議会広報調査特別委員会

委員長	久代 安敏
副委員長	足羽 寛
委員	大西 保
委員	近藤 仁志
委員	福田 稔